

令和2年度（2021年度）学校評価報告書

令和3年（2021年）3月30日

北海道教育委員会教育長 様

北海道紋別養護学校長 町 田 美穂子 印

次のとおり令和2年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点教育目標

「客観的な個別の指導計画に基づいた未来につながる授業づくり」

教育方針キーワード 「個別の指導計画の検証・改善・連続」

経営方針キーワード 「安心・安全・安定」

2 令和2年度学校評価分析結果と改善の方策

項目・方策	職員評価	保護者評価	関係者評価
○低評価項目について	・全項目の平均値は教職員 3.09 であった。「交流及び共同学習の推進」や「地域資源の活用」等、感染症対策に関わり学習を縮小したことによるものと、「教職員の業務改善」「効率的な会議運営」等、働き方改革に関わるものが低評価となった。	・全項目の平均値は 3.50 であった。「PTA活動」「交流及び共同学習」「地域の教育資源の活用」等、感染症対策に関わり学習を縮小したことによるものについて、低い評価となったと考える。	・ICTやオンラインなどが浸透してきている中で、家庭や学園など生活の中でどのように生かしていくのか。学校にはタブレットがあるが、家庭にはないこともある。バランスをとって取り組む必要がある。
改善の方策	・「交流及び共同学習」では、すでに小学部では次年度へ向けた計画を具体的に作成している。中学部ではビデオや作品を通じての交流を行ことができ、より、共生社会に向けた内容の充実に継続して取り組みを進める。「PTA活動」については、防災リュックの整備など、PTA主体で進められており、次年度も、保護者と学校が連携・協力して活動内容を検討していく。 ・ICTを活用した学習への取組については、校内委員会を令和3年度から設置し、学校全体で組織的に取り組むよう計画している。（ICT活用推進委員会） ・働き方改革に関連する課題については、会議時間や内容の精選、会議の進め方のルール化等全職員で方策を共有して進めている。 【共通して取り組むルール】 ・時間を決める（会議時間の設定を1回あたり45分で行う。） ・計画した日程で進めるよう、計画的な推進を行う。 ・目的の明確化（意図を持った提案） 何を検討するのか、何を決めるのか、分かりやすい資料作成と説明。 ・建設的な視点で検討する。 ・結論は共有し、実施後新たに改善を行う。（PDCAでの見直し）		

○安全安心な教育環境について	・教材があるべき場所に保管されていない場合があるなど、物の管理について課題があると考える職員が多く、低評価となっている。物品の管理について全職員で方法の確認が必要である。	・平均を下回る評価値 3.45 であった。児童生徒の物品が不明になるなど、保管・管理についての課題があると捉えられたと考える。	・「学校は施設設備及び教材備品を適切に整備し、安全・安心な教育環境を整えることができる」という項目は重要である。管理者がその都度気を付けたり、指導する必要がある。
改善の方策	・部署ごとに担当している物品の保管状態、方法を確認した。体育館器具庫では、管理用品を写真で提示するなどの対策をとった。 ・鍵の管理については貸与方法を見直し、必ず貸与簿に記録し使用するなど管理規定を改め、全職員への周知を徹底した。 ・寄宿舎の投棄に関わる業務については、寄宿舎職員全員で複数職員での確認を怠らないよう体制の改善、確認をおこなった。		
○報告・連絡・相談の徹底	・連絡の行き違いや、引継ぎ漏れなどがあり、連携に不足がある。校内ネットワークを活用して手立ての工夫を行っているが徹底されていない。	・平均を下回る評価値 3.45 であった。学級担任と寄宿舎室担、事務部等と連絡不足で情報が共有されなかったケースがあり、それらの評価が反映していると考ええる。	・学校と寄宿舎の連携不足があるのではないかと学校のことを寄宿舎職員が知らないことがないよう共有してほしい。
改善の方策	・現在作成している情報ファイル（学舎連携フォルダ）や、引き継ぎ簿、棟ノートの活用を再確認し記録に残す等、各部署で報連相を絶やさずに業務に当たる。 ・校内的な情報の共有が必要な事案か判断に迷う場合は、棟主任や学部主事へ報告・相談する。		
○全体のまとめ	・高評価をいただいた項目については、継続した取組を推進する。 ・低評価な項目には、感染症対策によるPTA 活動や学習活動の縮小の表れではないかと捉えられるものがある。しかし「PTA 活動」では、直接的な活動はできなかったが、防災リュックを整備していただくなど、確実に活動を進めることができた。次年度も、様々な制約が考えられるが保護者と学校が連携した取組を、持続可能な方法で進めていく。 ・物品の管理については、年度初めに全職員で運用方法を確認するなど共有し、再発防止に努めていく。 ・校内の連携については、学部主事や棟主任を中心に共有に努め、学部連絡会や運営委員会等を用いて組織的な取組をおこなっていく。		
公表方法	○学校評価結果を学校ホームページへの掲載。 ○保護者への令和2年度学校評価（アンケートの結果（教職員、保護者）の配付。		

令和2年度 紋別養護学校 学校評価（教職員用）

○評価4（よくできた） 3（できた） 2（あまりできていない） 1（できていない）

教職員平均値 3.09

全体数	58	教員 寄宿舍	55	行政	3	回収率	100%
-----	----	-----------	----	----	---	-----	------

※小数点第3位を四捨五入しています。四捨五入の関係で、合計値の100%から0.1%ずれる場合があります。

評価項目		平均値	評価4	評価3	評価2	評価1
1 ※	学校のグラウンドデザインは、教育目標や教育方針等が分かりやすく示されている。	3.10	13	39	5	1
			22.4%	67.2%	8.6%	1.7%
安全な学校づくり	2 ※	3.22	21	30	6	1
	3 ※	2.98	10	39	7	2
	4 ※	3.10	14	36	8	0
	5 ※	3.33	23	31	4	0
	6	3.31	21	31	2	1
	7 ※	3.14	20	27	10	1
	8 ※	3.16	18	32	7	1
専門性の高い教育	9	3.05	10	39	5	1
	10	3.00	12	33	8	2
	11	3.02	8	40	7	0
	12	3.13	19	25	10	1
	13	2.89	6	38	10	1
	14	3.16	13	38	4	0
	15 ※	3.02	7	46	4	1
	16	3.04	9	41	3	2

続きます→

→つづき

保 と 護 の 者 連 携 地 域	17	学校は、目的を明確にした懇談や参観日を実施し、保護者との連携を図ることができている。	3.13	11	39	4	0
				20.4%	72.2%	7.4%	0.0%
	18	学校は、進路懇談等とおして、進路に関する情報を発信することができている。	3.20	15	35	4	0
				27.8%	64.8%	7.4%	0.0%
	19 ※	学校は、一斉メールやお便りを使って迅速・適切に情報を保護者と共有し、教育活動を行うことができている。	3.59	36	20	2	0
				62.1%	34.5%	3.4%	0.0%
	20	学校は、地域の小中高等学校と共生社会に向けた、交流及び共同学習の推進を行うことができている。	2.57	2	31	17	4
				3.7%	57.4%	31.5%	7.4%
	21	学校は、保護者主体のPTA活動として、活動内容の検討、推進することができている。	3.02	8	40	5	1
				14.8%	74.1%	9.3%	1.9%
	22	学校は、関係機関へ本校の役割についての理解啓発を行うことができている。	3.20	13	39	2	0
				24.1%	72.2%	3.7%	0.0%
	23	学校は、地域の教育資源を活用した教育活動を推進することができている。	3.00	10	36	6	2
				18.5%	66.7%	11.1%	3.7%
業 務 改 善	24 ※	学校は、児童生徒に向き合うための時間を確保し、教育活動が充実するための業務改善に取り組んでいる。(働き方改革)	2.91	11	33	12	2
				19.0%	56.9%	20.7%	3.4%
	25 ※	学校は、会議の目的や内容を明確化して、効率的な会議運営をすることができている。(学校全体反省)	2.98	10	37	9	1
				17.5%	64.9%	15.8%	1.8%
	26 ※	職員は、一人一人が会議の目的を理解して参加することができている。(個人反省)	2.95	9	37	10	1
				15.8%	64.9%	17.5%	1.8%
	27 ※	学校は、分掌業務の明確化と業務内容の精選ができている。	2.93	8	38	10	1
				14.0%	66.7%	17.5%	1.8%
	28 ※	職員は、教育公務員としての自覚と責任ある行動をすることができている。	3.40	27	27	4	0
				46.6%	46.6%	6.9%	0.0%

令和2年度 紋別養護学校 学校評価（保護者用）

○評価4（よくできた） 3（できた） 2（あまりできていない） 1（できていない） 保護者平均値 3.50

全体数	31	回収率	100%
-----	----	-----	------

※小数点第3位を四捨五入しています。四捨五入の関係で、合計値の100%から0.1%ずれる場合があります。

評価項目		平均値	評価4	評価3	評価2	評価1	無回答
	1 学校のグランドデザインは、教育目標や教育方針等が分かりやすく示されている。	3.42	14	16	1	0	0
			45.2%	51.6%	3.2%	0.0%	0.0%
安全な学校づくり	2 学校は、児童生徒に関わる事故が発生した際に、迅速・適切な対応、保護者への説明を行い再発防止に努めている。	3.68	22	8	1	0	0
			71.0%	25.8%	3.2%	0.0%	0.0%
	3 学校は、施設設備等を適切に整備し、安全・安心な教育環境を整えることができている。	3.45	17	13	0	0	1
			54.8%	41.9%	0.0%	0.0%	3.2%
	4 学校は、緊急時や災害時の対応について保護者と連携を図りながら、適切な体制を整えることができている。	3.61	23	6	1	0	1
			74.2%	19.4%	3.2%	0.0%	3.2%
	5 学校は、いじめ等の防止、早期発見への体制整備を行うことができている。	3.45	18	11	1	0	1
			58.1%	35.5%	3.2%	0.0%	3.2%
	6 学校は、個人情報を適正に管理運用をすることができている。	3.48	19	10	1	0	1
			61.3%	32.3%	3.2%	0.0%	3.2%
専門性の高い教育	7 学校は、将来の願いに基づき、客観的な実態把握のもと、保護者との共通理解を図りながら個別の指導計画を作成することができている。	3.52	19	11	0	0	1
			67.7%	25.8%	6.5%	0.0%	0.0%
	8 学校は、子どもの発達段階や生活年齢に応じた教育を行うことができている。	3.61	21	8	2	0	0
			67.7%	25.8%	6.5%	0.0%	0.0%
	9 学校は、目標の設定や指導、評価を行いながら、段階的に将来につながる教育を行うことができている。	3.55	18	12	1	0	0
			58.1%	38.7%	3.2%	0.0%	0.0%
保護者と連携・地域	10 学校は、高い人権意識をもち、児童生徒を尊重した適切な関わり方で教育を行うことができている。	3.52	19	11	0	0	1
			61.3%	35.5%	0.0%	0.0%	3.2%
	11 学校は、教員や寄宿舎指導員、事務職員が連携し教育を行うことができている。	3.45	17	11	3	0	0
			54.8%	35.5%	9.7%	0.0%	0.0%
	12 学校は、目的を明確にして懇談や参観日を実施し、保護者との連携を図ることができている。	3.58	21	8	1	1	0
			67.7%	25.8%	3.2%	3.2%	0.0%
	13 学校は、進路懇談等とおして、進路に関する情報を発信することができている。	3.71	22	9	0	0	0
			71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	14 学校は、一斉メールやお便りを使って迅速・適切に情報を保護者と共有し、教育活動を行うことができている。	3.77	27	3	0	0	1
			87.1%	9.7%	0.0%	0.0%	3.2%
改業善務	15 学校は、地域の小中高等学校と、共生社会に向けた交流及び共同学習の推進を行うことができている。	3.29	13	14	4	0	0
			41.9%	45.2%	12.9%	0.0%	0.0%
	16 学校は、学習費やPTA会費、行事に関わる費用などを適正に管理及び執行することができている。	3.48	18	12	0	0	1
			58.1%	38.7%	0.0%	0.0%	3.2%
	17 学校は、保護者主体のPTA活動を行うことができている。	3.29	12	16	3	0	0
			38.7%	51.6%	9.7%	0.0%	0.0%
	18 学校は、地域の教育資源を活用した教育を行うことができている。	3.35	15	14	1	0	1
			48.4%	45.2%	3.2%	0.0%	3.2%
	19 学校は、児童生徒に向き合うための時間を確保し、教育活動が充実するための業務改善に取り組んでいる。（働き方改革）	3.32	15	12	3	1	0
			48.4%	38.7%	9.7%	3.2%	0.0%